

黒門小学校の大規模改修について

1 設計時の留意事項

児童にとってより良い学習環境・生活環境となるよう設計
元の意匠を損なうことのないよう配慮して改修
元の姿の「復元」、「保存」をキーワードとして改修方法を検討

2 各工事の特記仕様書（一部抜粋）

工事施工に当たっての留意点

<建築工事及び空調等設備工事>

本施設は歴史・文化財的に貴重な震災復興小学校であるため、外観や形状等については、設計意図を理解した上で、下記の点に十分な配慮を持って施工を行うこと。

- ・外壁及び内装仕上（腰羽目板、フローリング等）の材料及び色彩については、必要に応じて現場にて色合わせ等を行うなど、監督員と十分な協議を行った上で決定すること。
- ・露出配管等の位置の設定や隠蔽処理方法等については電気・設備工事と十分に協議を行い設計意図に沿った施工となるよう努めること。

<電気設備工事>

本施設は歴史・文化財的に貴重な震災復興小学校であるため、外観や形状等については、設計意図を理解した上で、下記の点に十分な配慮を持って施工を行うこと。

- ・電線管・ボックス等の塗装色については、必要に応じて現場にて色合わせ等を行うなど、監督員と十分な協議を行った上で決定すること。
- ・露出配管等の位置の設定や隠蔽処理方法等については電気・設備工事と十分に協議を行い設計意図に沿った施工となるよう努めること。